

受番	検号	国
(算用数字)		
志願校		

解答用紙

※

⑥						④	③		②	①
か	き	広	文			1	な	技	2	㊦ 発揮
ら	、	が	明				慣	術		
広	文	り	の			習	や			
が	明	やす	教			に	法			
り	を	す	育			し	制			
に	身	い	は			て	度			
く	体	が	、			い	は			
い	化	、	定			⑤	く			
。	す	文	式			第	能			
	る	化	化			二	力			
	営	の	さ			の	に			
	み	教	れ			習	基			
	な	育	た			慣	づ			
	の	は	型			と	い			
	で	、	を			な	た			
	個	個	伝			っ	も			
	人	人	え			た	の			
	の	身	る				だ			
	責	体	合			か	ら			
	任	の	理			。				
	と	能	的							
	努	力	な							
	力	と	営							
	が	結	み							
	必	び	な							
	要	つ	の							
	だ		で							

②			①
⑤			㊦
『万葉集』の歌は、梅の花の清らかさが観賞の対象であるのに対して、Bの歌は、濃厚ななかにどこか凛とした清純さを失わない梅の花の香が観賞の対象である。			い (った)
②			㊧
ふるさと			お (しがって)
③			㊨
4			じょうしゅ
④			
a・c			

③				
⑥	③	②		①
3	3	たから。		⑦ 旅で見たもの
	④	好物のヤマメをお土産にして祖父を喜ばせ、教わった釣りが上達したことも自慢し		⑧ 六年生の記憶のもの
	1	ようと思ったが、一日かけて小さい一匹だけなのが格好悪く、それを祖父に知られ		⑨ 祖母のしわだらけの手
	⑤	たくなかったのに、母が勝手に持って行って話してしまったことで、面子がつぶれ		⑩ 女の将さんの艶やかな手
	4			